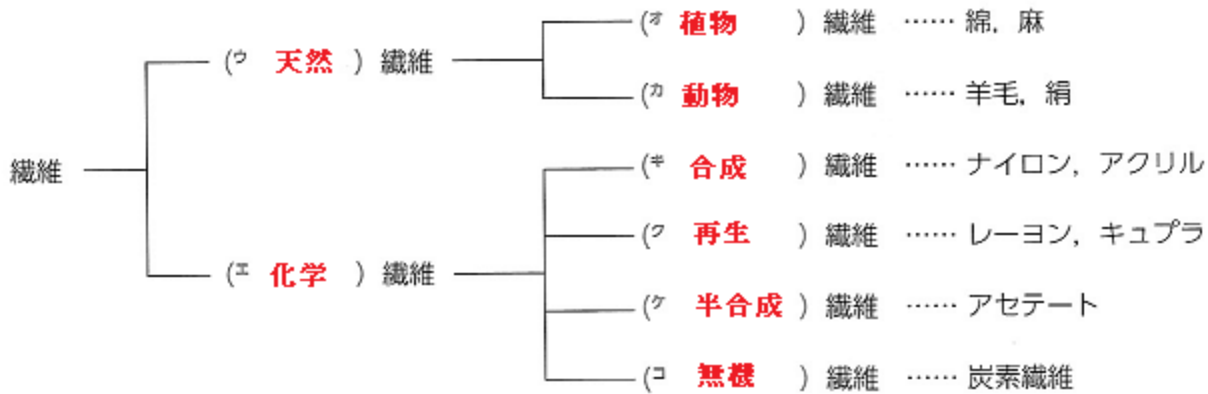


A 衣料の成りたち [教] p.40

- 衣料や織物は、細くて長く、しなやかに変形しやすい糸状の物質である(ア **繊維**)からできている。(ア **繊維**)として用いられる物質の多くは(イ **高分子**)化合物である。

B 繊維の分類 [教] p.40~41

- 繊維は、原料となる物質が取り出される場所や原料のつくられ方などによって、次のように分類される。



C 植物繊維 [教] p.42

- 植物繊維は、植物の細胞壁に含まれる高分子化合物の(ア **セルロース**)が主成分である。水になじみやすい性質をもつため、植物繊維は吸湿性が(イ **高い**・低い)。
- (ア **綿**)…ワタを原料とする繊維である。繊維の中に空洞があり、少しねじれた構造をしているため、繊維の間に空気を含む隙間ができ、やわらかく保湿性に富む。
- (ロ **麻**)…アマやカラムシなどの植物の茎を原料とする繊維である。空洞をもつ構造をしているが、繊維どうしをくっつける成分が多く含まれているので、強く硬い。吸湿性が高いうえに放湿性にも優れ、清涼感がある。

D 動物繊維 [教] p.43

- 動物繊維は、動物の体毛などの(ア **タンパク質**)が主成分である。性質上、動物繊維はアルカリに(イ **強く**・弱く)、虫害を受けやすい。
- (ア **羊毛**)…ヒツジの毛から得られる繊維である。表面にはうろこ状の(イ **キューティクル**)があり、水をはじく性質がある。羊毛はちぢれた構造をしており、空気を蓄えやすいので、保温性が高い。
- (ロ **絹**)…カイコガのまゆから得られる繊維である。繊維は細く表面もなめらかであるため、しなやかで光沢がある。